



## GOOD DESIGN AWARD 2020 第4回 医工連携 Award 最優秀賞

受賞製品：熱中症対策ウォッチ「Biodata Band」の開発

開発者：西垣 孝行

受賞日：2021年5月

臨床工学科  
西垣 孝行 先生

これまでの熱中対策では、気がつくタイミングが遅れることにより、初期対応が取れず、結果的に重篤化して救急車で運ばれるケースが後を絶ちませんでした。事前に熱中症リスクがあることを本人に知らせる製品があれば、気がつくタイミングが早まることによって、早期の熱中対策が可能となります。我々は、熱中症の原因となる体内の熱ごもりを測定するセンサーを開発し、その技術を応用して、熱中症対策のウェアラブルバンド「Biodata Band」を商品化しました。開発コンセプトについては、大学教授（熱流、半導体、熱中症、生体における熱力学の各専門家）をアドバイザーとして招聘し、商品化にあたっては、マスマークeting企業、表面処理・加工の専門企業、デザイン会社と連携しました。これらが評価され、「GOOD DESIGN AWARD 2020」、「第4回 医工連携 Award 最優秀賞」を受賞しました。「第4回 医工連携 Award 最優秀賞」は日本臨床工学技士会 臨学産連携委員会による、すでに上市している製品で最も優秀な製品におくられる賞であり、第31回 日本臨床工学学会熊本大会において表彰されました。

参考：<https://ja-ces.net/renkei/wp-content/uploads/2021/08/6711dc106b883ee73b21a6e60d9329a6.pdf>



熱中症対策ウェアラブルバンド「Biodata Band」



## 優秀賞

学会名：第6回森ノ宮医医療大学学術大会

テーマ：理学療法教育における歩行観察時の学年別の視覚特性抽出

発表者：平川正彦, 杉本圭, 国宗翔, 松尾浩希, 檜垣奨, 中根征也.

受賞日：2021年10月31日

理学療法学科  
平川 正彦 先生

理学療法士にとって、視診で行う動作観察は重要な技術です。しかし、その定義や方法論は統一されていません。そのため、動作観察の理学療法教育についても明確な方法が確立されていない状況です。本研究では、動作観察教育の手がかりを見つけることを目的に、学年別の歩行動作観察時の視線の動きや注視部位を抽出しました。その結果、1年生と3年生では、注視部位や、気になると回答した身体部位が異なることが明らかとなりました。この結果から、3年生は、大腿部を注視しながら周辺視で気になる身体部位との関係性を観察する特性をもっていることが考えられます。この学年別の視覚特性の違いを基に、今後の動作観察教育に繋げていきたいと考えています。

